



第8回セーフコミュニティ対策委員会

平成29年2月28日（火）8回目の対策委員会を行いました。

各対策委員会で重点課題（取組むべき課題）が決まりました。今後は、課題の解決に向けて取組みについて検討を重ねて行きます。

3月28日（火）11時～12時  
「第2回さいたま市セーフコミュニティ推進協議会」を開催します。

活動開始から約1年が経過し対策委員会委員の方へ感想を聞いてみました！！

高齢者の安全対策委員会 中村委員

私は介護保険枠外で、ご高齢の方や障がいのある方への在宅支援活動をさせていただいている有償ボランティアのNPOに所属して22年になります。この活動を通して、ハードやソフトの両面で、個人の力ではどうにもならない様々な課題があることに気づかせていただいております。このような時に、セーフコミュニティ対策委員会のお話をいただき、微力ながらも参加させていただいております。

委員会は5つの対策部会に分かれてはいますが、部会で区切られることなく、目指す目的は『誰もがどのようになっても』安心して安全に暮らせるさいたま市です。心身共に様々な状況に置かれていらっしゃる方の存在を知り、その方々を受け入れることのできる、さいたま市民であってほしいと願っております。

子どもの安全対策委員会 佐野委員

SC対策委員会の会議の中では、さいたま市の子どもに関わる各部署のみなさまや市民団体のみなさまの取り組みやお話を伺い、子ども達の安心安全は各方面からの取り組みの中で、すでに守られている事も知りました。そして更に、実際にケガ等の数字として結果にでていない部分や表面に見えない「こころ」の部分も含めて様々な角度からの分析を行ってきました。小学生を対象に行った専門のプログラムの中での出来事ですが、「辛い時、悲しい時はどうしているの？」と聞いてみると、「相談できる人は誰もいないよ。悩みは自分ひとりで考えるんだよ。」と答える子ども達がいきました。今後は、子ども達の声も、しっかりと発信し、子ども達のいきいきとした笑顔あふれる安心安全な街づくりへの新たな取り組みを委員のみなさまと考えていきたいと思っております。

自転車安全対策委員会 吉田委員

人が集まらずあきらめかけていた自転車の交通安全運動ですが、市のセーフコミュニティの取り組みをきっかけとして再開して現在に至ります。おかげで来年度から年数回の自転車教室の実施が決まっています。さいたま市は自転車レーンも多くコミュニティサイクルもあり、自転車でボランティアをしやすい環境が整っているので安心です。もはや欧米の自転車先進地域では、市民が自主的に行う自転車の交通安全運動は「当たり前」のものです。行政任せの自転車施策を改めて市民が声を上げるためにがんばっていききたいと思っております。

DV防止対策委員会 小泉委員

準備された必要なデータ資料は、多くて、これから始まる事にひるみました。そして、話し合いの中で不足なデータは、どんどん追加提供されました。

それでも積極的に参加できるのは、ハキハキと元気な白石先生だからです。トンネルの中で、遠くに見える小さい明かりを こっちよー！とグングン歩く白石先生に付いていけば、何か正しい方向へ向かっている気がするのです。

毎回、子連れの会議参加で、申し訳なく思いますが、子育て中ママの意見を聞いてくれる場があるのは、うれしいですね。

自殺予防対策委員会 太田委員

セーフコミュニティーに参加することになり、何をすればいいのかしらというのが最初でした。民間で活動する団体や行政職員も加わり話し合いを進める中で、あ〜結局はここに行きつくのかなあと気持ちが至ったことがありました。それは自助・共助・公助という言葉です。どれが欠けても、人の命は守れないでしょう。

今世界は、自分の利益を追求する方向に向かいつつあるように感じられます。そんな流れに逆らいつつ、地域で命を守るために何ができるか考え・行動する仲間を増やしていく、セーフコミュニティーの概念を広められたらと感じています。

